

## 日光高山（1667m）月例山行報告

**[山行日]** 8月17日(日) 曇り  
**[集合場所]** 島田宅6時30分  
**[交通・費用]** マイカー1台 : 参加費 1,650 円  
**[メンバー]** CL:島田・SL仙石・会員外2名 (合計4名)  
**[コースタイム]**

島田宅6:30＝竜頭の滝駐車場7:30～高山山頂9:00～窪熊9:40～  
竜頭の滝第二駐車場12:30＝日光市内(サンフィールド)昼食＝島田宅16:00

お盆明けでもあり、天候が心配され会員参加者2名と少なく、急遽会員外の2名も参加。曇り空の宇都宮日光道路を疾走した。高速を下り、いろは坂を登り始めると、無情にも小雨が降り注ぎだした。奥日光は、日本海の気候の影響を受けることがあるので、期待し急坂にハンドルを切り登っていた。「天候が悪ければ、温泉につかり、美味しいものを食べて帰ろう」などと、車内で話していた。明智平からトンネルを抜けるとなんと青空が見えるではないか。新潟が強かった。しばらく日本海頑張りと心で祈って駐車場に車を止めた。

登山路に入ると「熊出没注意」の看板が目に入った。シカよけか、侵入防止のネットが張られ、扉を開けて高山に向かった。植物・動物達との共存の難しさ、生物のバランスが、人間の利己主義により、このつけになったのだと思いながら、柵の中を進んだ。中禅寺湖の湖面も青く見え、北側の戦場ヶ原も青々と見ることが出来た。

山頂では、木々が大きく成長し、合間からしか、白根山を望む事が出来なかったが、その雄姿は、雲に包まれていず、拝む事が出来た。ただ、天気予報では、午後は、雨と報じているので、山頂での休憩は、アイスコーヒを含む程度で窪熊に向かった。登山者も少なく、木々が語る音、鳥のさえずり、沢の大地を削る水の勢いを感じながら、湖畔に向かった。山ブドウの蔓はたくさん見受けられたが、実がなっていない。動物達にとっては、今年も受難の年になってしまうのか。また、里に下りてきて、新聞記事に載るのか。

窪熊からは、湖畔沿いに進む。この時期は花も終わり、見るものがない。道端の倒木に立派なシイタケを見つけた。3個も付いている。国立公園内なので、取られずに残ったのか。それとも30年で半減するといわれる、残留放射能を心配してか。我々も見ただけで、通り過ぎた。雨雲は、周りの山にかかっていないので、湖畔の波を楽しみながら、ゆっくり歩を進めた。

日光市内は、雲が低く立ち込め今にも泣きだしそうな天候であったが、市内の「サンフィールド」で1,800円の簡易ユバ懐石で昼食をとり、満足して家路に着いた。 (島田)